

クラス番号	232	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	横山由香里
テーマ	創って学ぶ多職種連携		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

### 【目的】

病気や障害があってもその人らしい生活を送るためには、どうしたらよいのでしょうか？  
 近年では、様々な人や組織が連携・協働して、病いや困難を抱える人を支える場面が増えてきました。  
 様々な専門職や地域の組織、人々が関わることで Quality of Life を高められる可能性があるのです。  
 ➡ こうした多職種連携について学び、理解を深めていただくことがこのゼミの目的です。

### 【内容と方法】

◆皆さんに、多職種連携を学ぶためのゲームを創っていただきます  
 医療専修の専修企画で1年次に多職種連携ゲーム（元版はスコットランド、日本語版は名古屋大学にて開発）をしていただきましたが、それらを参考に、福祉的な視点を交えながらゲームを創っていただきたいと考えています。

### ◆取材や事例収集のためにフィールドに出ます

ゲームを創るために、医療や福祉に関わる様々な職種や組織について理解することが求められます。また、事例などを活用してストーリー仕立てにする場合は、事例を専門職や当事者の皆さんに教えていただくことも役立つでしょう。フィールドに出て、見て、聴いて、質問して学んだことを活かしたゲームを作成してください。

### <学習目標>

- ① 医療や福祉に関わる様々な職種や組織の特徴や役割を理解できる。
- ② 多職種・他機関の連携や地域の人々のつながりによって、支援の幅が広がることを理解できる。

### 授業計画：

- （前期） 医療福祉に関わる職種・組織等について文献学習 → 職種・組織へのインタビュー  
 ゲームの設計・方針決め
- （後期） 事例収集・ゲームの作成 → ゲームの実施（評価）

備考：グループワーク形式で行います。インタビューや見学のために学外に出かける場合があります（2-3回想定）。行き先は授業開始後に相談したうえで決めますが、大学近隣以外にも名古屋方面に出かけるグループがあるかもしれません。交通費がかかる可能性があります。

## 担当教員からのメッセージ

近年、娯楽のためだけでなく社会課題の解決を目指して作られるシリアスゲームが話題になっています。...といっても、私自身はあまりゲームに詳しくないため、皆さんと一緒に考えていけたらと思います。

コロナ禍でフィールドに出にくい状況ではありますが、実際に現場で学ばせていただいたことは、想像以上に皆さんの糧になるように思います。なるべくフィールドに出て学んでいただきたいと思います。

ゼミでは皆さんが「知りたいこと」「見てみたいこと」を応援します。ゼミ生からの企画・提案は大歓迎です。皆さんの主体的な参加を期待します。